

会 議 録

会議名	令和6年度第3回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年12月17日(火) 午前10時から午前11時15分まで
開催場所	印西市文化ホール多目的室
出席委員	和地朝子 委員、武藤茂 委員、周郷真由美 委員、大澤成行 委員、植村直子 委員、 穂戸田和宏 委員、金子貴子 委員、渡辺恵美 委員、篠原裕子 委員 計9名
欠席委員	松山毅 会長、葛生茉布美 委員、木内郁美 委員 計3名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 田口光浩 [事務局] 【子育て支援課】 齊藤利裕、小川敏博、黒田学、清田和広、竹下和也 【株式会社ぎょうせい】 長澤洋 (関係課) 【保育課】 藤巻孝、木村一美、中島好洋、成田勝也、 【子ども家庭課】 小塚典子、小野田昌代、小森谷幸一、酒井絵里子 【子ども発達センター】 宿城和憲 【学務課】 斉藤睦雄 【指導課】 深澤淳一 【生涯学習課】 飯塚知明 計19名
傍聴者	なし
会議次第 議 題	1 開会 2 議題 (1) 印西市こども計画(素案)について【資料1関係】 3 その他 4 閉会
配布資料	【会議次第】 【資料1関係】 印西市こども計画(素案) 【資料1-1関係】 事業検討シート 【資料1-2関係】 現計画における実績値(量の見込みと確保策)

会議概要・審議経過

会議の公開と傍聴規定について
会議の録音並びに会議録の要約筆記及び署名について
会議の開催について 定足数に達していることを報告
会議資料の確認

1. 開会 2. 議題

(1) 印西市こども計画（素案）について
○資料1、1-1、1-2に沿って事務局より説明

【議 長】それでは議事を進めていきたいと思えます。P87 こども家庭センターにおける相談支援の充実について、子ども家庭課で発行しているリーフレットにもある「印西市家庭児童相談」という具体的事業名をここに書いてはどうでしょうか。

【事務局】さまざま相談事業がある中の一つでもあるので、そういった点も踏まえて検討します。

【委 員】量の見込みと確保の方策での確保方策は、既に整備されているものとこれから整備されるものがあると思うがどう見分ければよいのでしょうか。

【事務局】P111 でいいますと、確保方策には既存のものが含まれています。例えば、1号の確保は幼稚園の既存の受け入れ体制です。2号、3号も同様で、既存の定員数が確保方策です。

【委 員】見込みと確保に差があるところは新規に整備するというのでしょうか。

【事務局】現在、待機児童はゼロであり、大幅な新規整備、新設は次期の5年間では考えておらず、P114 確保方策の考え方にある記載のとおりです。

【議 長】P79 に学童クラブ、整備・確保を推進するとある。P118 では見込み分の確保に努めるとある。保護者のニーズには応えられるのでしょうか。

【事務局】学童クラブの待機児童について、3か所で7年度に向けて拡充中、また民間の学童も拡大を進めているところです。記載にある地域による不足、例えば原山小は、夏休み以外について、学校改修スケジュールとの調整を進めています。令和7年度の募集を今行っているところですが、重複の申し込みもあり最終とは言えないものの、前年度からの申し込み数の増加は160名であり、枠は195人分増え、全体では充足と考えられます。将来的に確保方策が増えているのは、民間学童から増加の要望もあり、ニーズもあることから増加させているものです。原山小の学童クラブは建て替えを予定しており、現在35名が定員のところを増加できるのではないかとということで検討中です。ただ、学童クラブは全体数だけでなく地区別が重要で、地区によらず待機をゼロとできるよう、局所的対応も含めて進めたいと考えております。

【委 員】P103 祖父母講座についてです。年齢制限や、本人がしっかりしている、といったような参加の要件はあるのでしょうか。

【事務局】昨年から子育て支援課の事業として、孫のいる方に今の子育てと昔の子育ての違いを、講座として助産師により行っているものです。興味があればご参加いただくことも可能です。参加できなくても子育て支援課で祖父母講座の手帳を配っているのでご覧いただきたいです。

【議 長】こういった講座の周知はどうなっているのでしょうか。

【事務局】市のホームページ、広報、窓口、児童館ポスター等でご確認いただけます。

【事務局】講座開催の案内も重要だが、祖父母講座は広報とホームページで開催後の報告も掲載したところ、次回参加したいといったご要望を3～4件ほどいただきました。以前の子育てと今の子育ての違いがメインテーマで開催しています。

【議長】今回の資料で知ったが、よい取り組みなので続けていただければと思います。

【委員】第7章、教育・保育の量の見込みと確保方策は区域別記載だが、学童も区域別に記載できないでしょうか。小学校数、児童数も区域で異なるのでどうでしょうか。

【事務局】現在のところ、全市の数で記載しております。手元では学校区域別のデータは整理しているが、各学校で児童数における学童クラブへの申し込みの傾向は極端に異なります。全体では増えている傾向であるが、5～6年生になると急激に減る区域やケースもあり、学校ごとの見込みは難しいところから記載は全体でしか出せていないです。変動など難しい部分があるということになります。

【議長】先ほども説明がありましたが、局所的な問題が発生するということですので、実際の整備などでご配慮いただければと思います。

【委員】新しい施策はどういうプロセスで決まっていくのでしょうか。例えば、祖父母講座、送迎ステーションなど、どこか先進の好事例があつてのことでしょうか。

【議長】新規施策について、いくつか事例で示せるでしょうか。

【事務局】今まで実施していたもので記載がなかったものを、今回のこども計画化にあたり記載したものもいくつかあります。その中で、送迎ステーションは全くの新規であります。さまざまな事業を検討した中で導入検討をはじめたものです。

【委員】送迎ステーションは他自治体の先例はありますか。

【事務局】流山市、松戸市などがあります。

【委員】こどもたちの声を取り上げられているのは良いと思います。また、困難な状況のこどもに目が向いているのも良いと思います。私は他の自治体とも関りがあるが、保健師と家庭との関わり方も複雑化し、時間がかかるようになり、マンパワーも必要になってきていると感じます。計画は素晴らしいが実行のための予算、マンパワーの方はしっかり見込まれているのでしょうか。

【事務局】予算、人的配置は、現状すでに動いているものがほとんどであり、担保は十分と考えています。

【委員】実績があつて実施もできるということであれば、とても良いと感じます。

【事務局】予算の面でいえば、総合計画や、こういった計画などに記載があつてこそ、予算を手当てしていけるという構図もあります。まず、やるという宣言が必要という面もあります。

【委員】こども110番の家は近所にもあります。うちでは、こどもが小学校の時、学校から依頼され登録しました。もう、こどもも大きいですが、まだ登録は続いているのだと思います。看板も色あせていますが、今も新しく増やしているのだろうが、登録だけされたままで、その家の実情にかかわらず10年、20年とただ継続されている事例は多いのではないのでしょうか。今、こどもがいる家庭は学校から情報も入手できるだろうが、こどもが卒業してからはそういった情報も得にくいと思います。

【事務局】こども110番の家は各学校の事務局が運営しています。登録時、看板、ステッカーを個人宅や事業所に配付しますが、登録後、もうこどもも大きくなって、こども110番の家としての登録も検討されるものと思います。ただこういったステッカーが張られていること自体が、地域の見守りの一助になっているものと認識しております。

【議長】こども110番の家は、各校が年度末に継続意向を調べる仕組みだったが、こどもが卒業すると、学校からのその意向調査が届かなくなる。進級進学で情報更新が難しくなる面もあり、学校での管理は要検討と感じたところでもあります。

【議長】不登校についてP20の統計にもあるが、今、学校は「必ず行くもの」とはなっていない見方もあると思います。不登校はこれからも増えると思います。適応指導教室という言い方によらず、校内の適応指導も施策の中に独立して書くことでもよいのではないかと思います。

【事務局】対策は市のももの県のもものもあります。小学校でもその場所を増やそうという動きがあり、今後の方向性も教育委員会で取り組んでいるところです。多様な学び、個々に応じての相談・情報提供をし、それぞれへの支援を行うという方向であります。事業に入れるかどうかは検討したいと思います。

【議長】他にご意見がありますでしょうか。

<特になし>

3. その他

【議長】その他として事務局ありますでしょうか。

【事務局】今後について、1月15日（水）から30日（木）までパブリックコメントを実施予定ですので、次回それを反映した案でお示しし、その後策定となる予定です。次回の会議は2月下旬から3月上旬を予定しています。

4. 閉会

【議長】それでは以上で、議事議題、報告は終了になります。以上をもって、第3回子ども・子育て会議を閉会します。

○事務局より連絡事項等

- ・委員報酬について
- ・会議録の署名委員について

令和6年度第3回印西市子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和7年2月10日

子ども・子育て会議委員

子ども・子育て会議委員